

2010年度 鉄道事業設備投資計画 安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強などに201億円

- ・自動列車停止装置(ATS)の更新、車両への安全装置取り付けを引き続き行います。
- ・所沢駅、椎名町駅、西武立川駅など9駅で駅舎の改良・バリアフリー工事を進めます。
- ・「Smile Train」30000系を16両新造します。
- ・石神井公園駅付近の高架複々線化事業を引き続き進めます。

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、より安全で快適なサービスを提供し、人にやさしい鉄道を目指しております。

2010年度は総額201億円を投じ、安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強など、鉄道事業の設備投資を積極的に行います。

《今年度の主な鉄道事業における設備投資の概要》

○ 安全対策

鉄道事業では安全を最重要課題としてとらえ、自動列車停止装置(ATS)更新、車両への安全装置取り付けなど、安全対策を中心に投資を行い、輸送の安全確保のための積極的な取り組みを行ってまいります。

○ サービス向上

今年度は所沢駅、椎名町駅、江古田駅、西武立川駅など9駅で駅舎の改良・バリアフリー工事を積極的に進めるなど、お客さまのニーズに合った快適なサービスを提供できる、人にやさしい鉄道を目指します。

また、国の基本方針により段差解消が必要な駅(1日あたり乗降客数5,000人以上の駅:該当78駅)について、国や地方自治体の協力を得ながら、エレベーターによる駅のバリアフリー化を進めます。今年度、仏子駅、鷹の台駅、武蔵大和駅の改良を実施し、段差解消の必要な駅のうち96%(今年度末までに75駅整備完了予定)の駅で円滑に移動できるようになります。今後も100%の段差解消に向け、積極的に関係機関と協議を進めてまいります。

車両更新では新型通勤車両「Smile Train」30000系を16両(8両2編成)新造します。

○ 環境対策

車両用空調装置の更新において、地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンを使用したクーラーへの置き換えを進めます。

○ 輸送力増強

池袋線・桜台駅(新桜台駅)～石神井公園駅間の高架複々線化事業のうち、残る石神井公園駅付近について引き続き工事を進めます。

詳細につきましては別紙のとおりです。

(別紙)

1. 安全対策

鉄道事業では、安全の確保を経営の最重要課題としてとらえ、鉄道事業者の責任として、自動列車停止装置（ATS）更新、省令変更に伴う車両への安全装置取り付け、曲線ホーム音声転落防止装置設置などの安全対策投資に重点をおきます。

○ 自動列車停止装置（ATS）更新

既存の機能に加えて急な曲線、分岐器箇所などの制限速度に対しても、非常ブレーキが動作する機能を追加した装置への更新を引き続き行います。

○ 車両への安全装置取り付け

省令の変更に伴い、運転士の異常時に列車を自動的に停止させる装置（E B装置またはデットマン装置）、列車の速度やブレーキの状況等を把握するための記録装置（運転状況記録装置）、列車防護がより確実に行えるよう、電源が断たれても防護無線の電源を別系統に自動的に切り替える装置の設置を引き続き行います。

○ 保谷駅ホーム 2 面化・線路 3 線化

これまで、ホーム 1 面、線路 2 線の島式ホームであった保谷駅を、2012 年度に池袋線が横浜方面と相互直通運転を開始するのに合わせ、安全性・速達性・定時運転を確保するために保谷駅のホームを 2 面、線路を 3 線化に改良します。改良による効果として、上りホームと下りホームが別になることでホーム上の混雑が緩和され、安全性が向上し、3 線のうち 1 線（中線）を折り返し線として使用することで、上下両方向への折り返しが可能となり、電車の遅延防止（異常時の対応や東京メトロ有楽町線・副都心線乗り入れに対する影響防止）につながります。さらに、駅付近の踏切の遮断時間が短くなり、渋滞緩和などの効果もあります。

なお、2010 年 3 月から新上りホームの供用を開始し、エレベーター 1 基とエスカレーター 2 基を設置しました。

○ その他の安全対策

- 駅舎耐震補強 小川駅
- 高架橋耐震補強 小川駅～玉川上水駅間
- 曲線ホームの音声転落防止装置 高麗駅、都立家政駅
- 転落防止放送装置の設置（先頭車どうしの連結部分） 2000 系 8 編成
- ドアチャイム取り付け 101 系 12 両、2000 系 32 両

2. サービス向上

地域・社会の発展に貢献し、快適なサービスを提供できる、人にやさしい鉄道を目指します。駅舎の建て替えを積極的に進めていく他、高齢のお客さまやお体の不自由なお客さまにも安心してご利用いただけるよう、駅のバリアフリー化を国や地方自治体などの協力を得ながら引き続き進めていきます。

また、ドア上に液晶の車内情報配信装置を 2 画面搭載し、利便性の一層の向上を図った 30000 系通勤車両の新造をはじめ、6000 系車両が東京メトロ副都心線と相互直通運転を行うための改造工事を引き続き行います。

□ 駅舎の改良

○ 所沢駅

池袋線と新宿線のターミナル駅として一日約 21 万人のお客さまにご利用いただいている所沢駅の建て替え工事を、今年 3 月より着手しました。駅の中央部分に新駅舎を建設し、お客さまがより快適にご利用いただけるようバリアフリー化やエスカレーターの増設、ショップエリアの拡充を実施。さらに、テント幕を用いて自然光を取り入れた屋根や壁面緑化によって、明るく環境にやさしい駅を目指します。さらに働く女性の支援を目的に、子育て支援機能などのサービスも計画します。

この工事は、当社創立 100 周年の節目であり、さらに、東京メトロ副都心線を通じて東急東横線及びみなのみらい線との相互直通運転を開始する予定の 2012 年度の完成を目指します。



○ 椎名町駅

駅舎の橋上化を行い、南北自由通路・エレベーター4基・エスカレーター6基及び多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。2009 年度より工事に着手し、橋上駅舎・自由通路の完成は 2011 年度、豊島区で行う歩行者広場などの整備は 2012 年度に完成予定です。なお、この事業は国及び豊島区と共同で実施する、駅・まち一体改善事業により行っています。



○ 江古田駅

駅舎の橋上化を行い、南北自由通路・エレベーター4基・エスカレーター9基及び多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。今年 1 月に橋上駅舎の一部の供用を開始しました。駅のバリアフリー設備は 2010 年度、また、練馬区で行う歩行者広場などの駅周辺整備については 2011 年度に完成予定です。なお、この事業は国及び練馬区と共同で実施する、駅・まち一体改善事業により行っています。

○ 野方駅

駅舎の橋上化を行い、南北自由通路・エレベーター3基・エスカレーター4基及び多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。今年3月に橋上駅舎・自由通路（一部）の供用を開始しました。また、今年度中に自由通路及び中野区で行う歩行者広場などの駅周辺整備が完成予定です。なお、この事業は国及び中野区と共同で実施する、駅・まち一体改善事業により行っています。

○ 狭山市駅

狭山市駅西口再開発事業に伴い、狭山市と共同で駅舎を橋上化し、東西自由通路を新設するとともにエレベーター3基・エスカレーター6基・多機能トイレなどを整備しバリアフリー化を図ります。今年3月より橋上駅舎の供用を開始しました。今年度は自由通路東口にエレベーター・エスカレーターを設置し、工事完成予定です。

なお、商業施設については、2011年春にオープンする予定です。

○ 西武立川駅

駅舎の橋上化及び北口の開設を行い、南北自由通路・エレベーター3基・エスカレーター4基及び多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。今年度より工事に着手し、2011年度に完成予定です。なお、この事業は立川市と協定を締結し行う予定です。

□ 駅設備のリニューアルなど

○ 仏子駅

国及び入間市から補助を受け、跨線橋エレベーター2基・多機能トイレを新たに設置します。また、お客さまご案内用オープンカウンター・傾斜型運賃表を設置し、旅客サービスの向上を図ります。

○ 鷹の台駅

国及び小平市から補助を受け、エレベーター2基・エレベーター専用跨線橋及び多機能トイレを新たに設置します。また、旅客トイレの移設・バリアフリー化改修及びお客さまご案内用オープンカウンター・傾斜型運賃表を設置し、旅客サービスの向上を図ります。

○ 武蔵大和駅

国及び東村山市・東大和市から補助を受け、公道から改札階へのエレベーター1基・通路及び多機能トイレを新たに設置します。また、駅舎の一部と旅客トイレの建て替えを実施し、旅客サービスの向上を図ります。



□ 駅のバリアフリー化 など

整備施設	2010 年度整備駅
エレベーターの設置	江古田（2 基）、仏子（2 基）、野方（1 基）、狭山市（1 基）、西武立川（3 基）、鷹の台（2 基）、武蔵大和（1 基）
エスカレーター	江古田（5 基）、野方（1 基）、狭山市（2 基）、西武立川（4 基）
多機能トイレの整備	仏子、西武立川、鷹の台、武蔵大和
お客さまご案内用オープンカウンター	仏子、西武立川、鷹の台、武蔵大和
傾斜型運賃表の整備	仏子、西武立川、鷹の台、武蔵大和

□ 駅の設備

○ 案内看板の改良

外国人のお客さまにも使いやすい駅施設とするため、駅の案内看板を順次 4 ヶ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）表記にしています。今年度は仏子（一部）、西武立川、鷹の台（一部）、武蔵大和駅などのきっぷ売り場・トイレ・出口案内などの案内看板を改良します。

□ 車両関係

○ 30000 系通勤車両を新造

老朽車両の代替として「Smile Train～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～」をコンセプトに設計した 30000 系通勤車両を 120 両新造する予定で、これまでに 10 編成 62 両を新造しました。今年度は 2 編成（8 両 2 編成）を新造する予定です。

○ 相互直通運転車両対応工事（6000 系）

池袋線と東京メトロ副都心線との相互直通運転を行う 6000 系車両の改造工事を引き続き行います。今年度は 2 編成の改造工事を実施し、改造工事が完了します。2012 年度には東急東横線及びみなとみらい線への相互直通運転開始を予定しています。

○ 2000 系車両バリアフリー化工事の推進

車いすスペースの設置、車内表示器の設置などのバリアフリー化工事を 2000 系車両 3 編成（8 両 3 編成）に実施します。

3. 環境対策

騒音、振動の軽減や省エネルギー化などの環境対策に従来から取り組んでおりますが、今後も環境対策を推進するため、車両用空調装置の更新を進めます。

○ 車両用空調装置の更新

現在のクーラー冷媒として使用しているフロンがオゾン層を破壊するため、オゾン層を破壊せず、地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンを使用したクーラーに置き換えています。今年度は 49 台の取り替えを行います。

4. 輸送力増強

○ 石神井公園駅付近高架複々線化工事

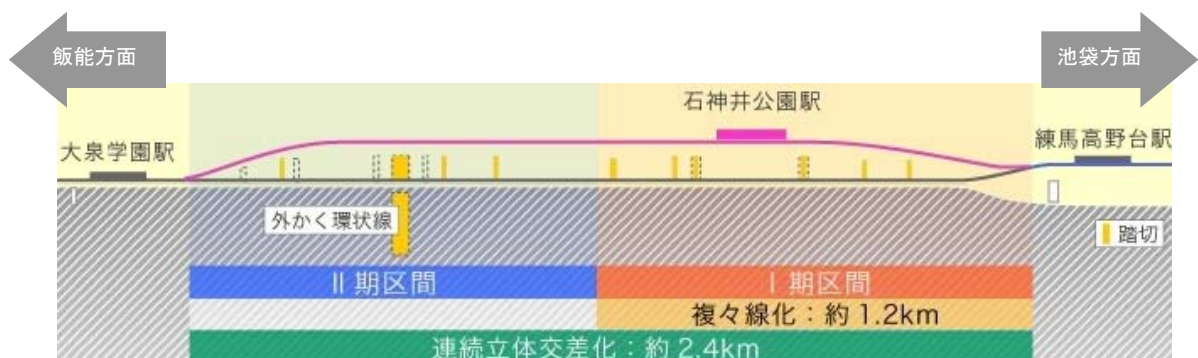
池袋線の高架複々線化工事については、1971年の都市計画決定以来、東京都、練馬区などと協力して工事を進め、2003年3月に桜台駅（新桜台駅）～練馬高野台駅間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2003年4月、国から連続立体交差事業の新規着工の採択を受け、2005年6月、大泉学園駅付近まで高架化を延伸する都市計画が決定されました。その後、関係機関との手続きを進め、2007年8月に工事着工しました。（Ⅰ期区間）

今年2月には、練馬高野台駅～石神井公園駅間（1.2km）の上り線を高架に切り替えました。

今年度も引き続き工事を進めてまいります。

この事業が完成すると、線路の高架化により合計9箇所の踏切がなくなり、踏切事故や交通渋滞の解消が図れます。石神井公園駅においてホーム2面、線路4線化されたホームとなり、急行電車と各駅停車が同じホームで乗り換えられるようになり、お客さまの利便性が向上します。



以上